

第7回夢追い長島花フェスタ閉幕

3月25日から開幕していた第7回夢追い長島花フェスタが5月7日に閉幕しました。

期間中は、ぐるっと一周フラワーロードの花ばなが来場者を迎え、サンセットの丘会場では、花と多くのイベントでもてなし、町内外から14万7千人（主催者発表）が、春の長島を満喫しました。

閉会式は、晴天のもとサンセットの丘会場で行われ、長島花のまちづくり協議会副会長の垂門和志さんが「たくさんの方の来場者に長島はきれいな所だとお褒めの言葉をいただきました。ボランティアで町内の国道県道沿いの花壇を管理していただいている人たちに感謝します」とあいさつしました。

式では、長島町ふるさと景観条例に基づき、本町の景観形成に貢献された3人の個人と2つの団体へ平成28年度景観賞の表彰が行われ（P14に関連記事）、受賞者を代表して有限会社福山建設の福山義弘代表取締役が「自然と共存する美しい感性あふれる長島町を目指し、花によるまちづくりをより一層推進します」と宣言しました。



写真①フラワーアレンジメント教室（5月3日開催）②木工教室（5月5日開催）③⑤来場者を迎える会場の花ばな④多くの花と、ながしま造形美術展作品が来場者をもてなす⑥昨年のフェスタ開催期間中に発生した熊本地震。被災地の復興を願いヒオウギ貝の絵馬に祈りを込める⑦閉幕式で花のまちづくり宣言をする福山義弘代表取締役

閉幕後の花フェスタ会場

花フェスタ閉幕後の5月下旬、会場では突如コスモスの花が咲きだしました。

このコスモスの種は、今年まいたものではなく、昨年秋に咲いたコスモスのこぼれ種から芽が出て咲いたとのことです。

このコスモス、6月いっぱいまでは見ることができそうです。

